

市内文化施設利用者団体懇談会次第

日 時：平成 20 年 9 月 17 日（水）午後 7 時から
場 所：上田市民会館 2 階大会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 検討委員、事務局出席者紹介

4 趣旨説明

「整備予定地の概要とこれまでに示されている上田市の基本方針」

5 懇 談

(1) 文化施設について

「現市民会館利用にあたってのご意見や新施設への要望」

※参考

①ホール構成（大、中、小、リハーサル室等付帯室）

②ホールの目的

(1)クラシック音楽 (2)ポピュラー音楽 (3)演劇、ミュージカル

(4)オペラ（歌劇） (5)バレエ、ダンス (6)伝統芸能等

(7)コンベンション（大会、講演会） (8)展示会や博覧会

(9)発表会

③規 模（客席数）

④設備、機能について

(1)冷暖房 (2)舞台 (3)音響 (4)照明

(5)吊り物 (6)楽屋 (7)客席・座席 (8)付帯設備

⑤外部施設（公園、広場、駐車場）

(2) 文化施設整備に向けて

「新施設に対する管理運営についてのご意見やご要望」

※参考

①事業内容など

②管理方法

③市民の関わり（ボランティア）など

(3) その他

※参考

①その他の市内文化施設のご意見やご要望

②手本となるような施設とその内容

6 そ の 他

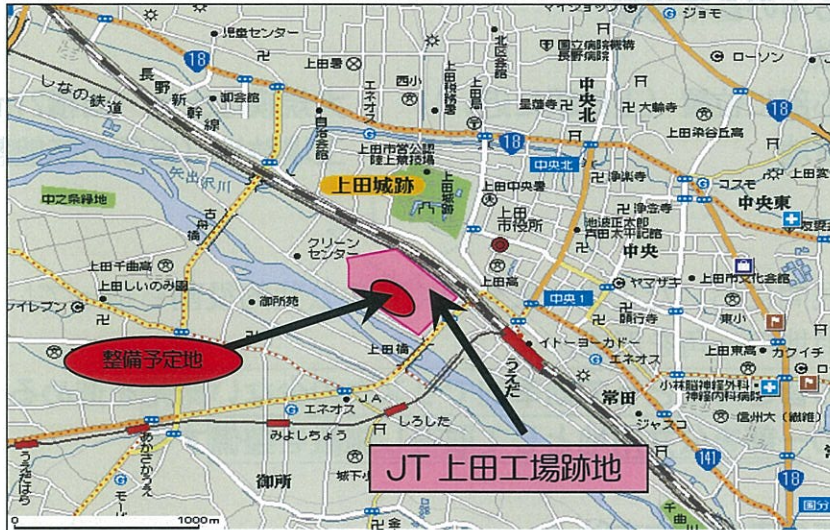
7 閉 会

整備予定地の概要とこれまでに示されている上田市の基本方針

1 整備予定地（JT 上田工場跡地）の概要

● 整備予定地

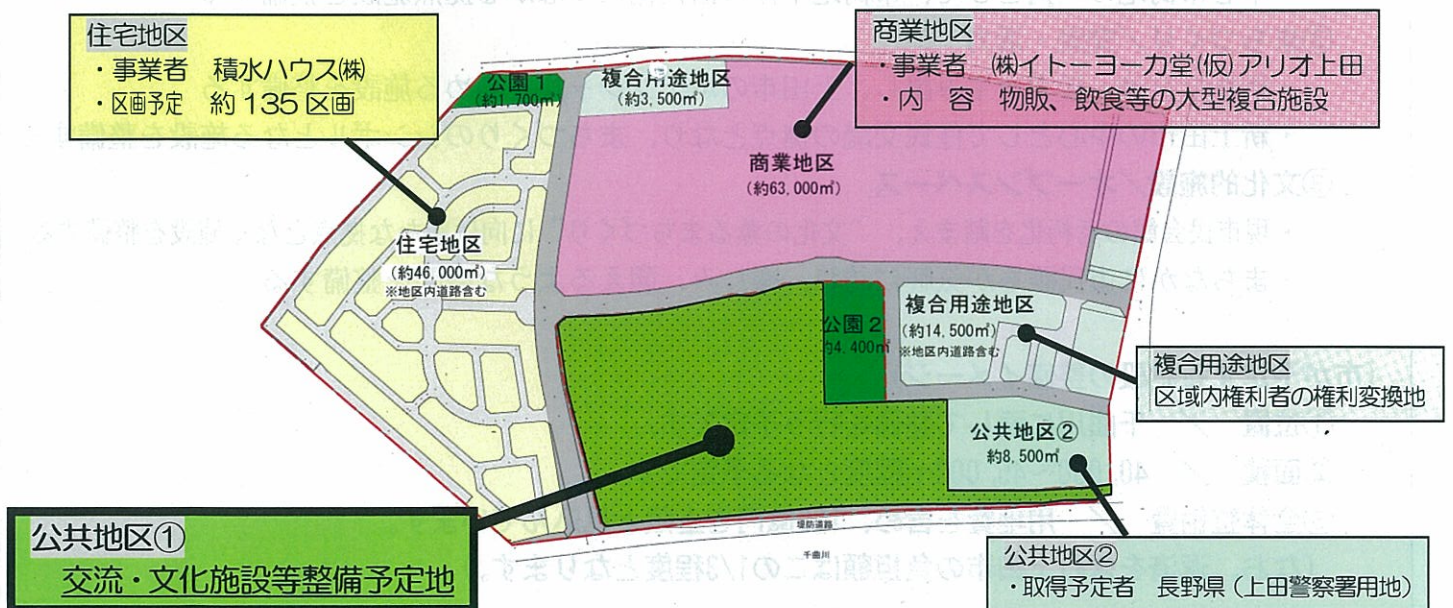
今回の施設整備を予定している JT 日本たばこ産業(株)上田工場跡地は、上田の中心市街地の一角、上田駅の西側約 500m ところに位置し、北側に上田城、南側に千曲川の間にはさまれた、立地条件に恵まれた土地です。



● 天神三丁目土地区画整理事業 整備計画図

現在、JT 跡地及びその周辺の民有地を含めた全体約 21ha で、JT が主体となった土地区画整理事業による整備が進められています。

今回交流文化施設等の整備を予定しているのは、この区画整理区域の一部「公共地区①」の部分になります。



2 これまでに示されている上田市の基本方針等

新上田市誕生後の平成18年度に、市ではJT跡地での公共利用の方向性について、研究会を組織し検討いただくとともに、市民広聴会やアンケート調査、各種懇談会等様々な形で市民の皆さんの御意見をお聞きしながら、検討をおこないました。そしてそれらを集約した結果として、平成19年1月に、市民の皆さんに市長から直接お知らせしたものが、以下の内容です。

JT跡地に対する市の基本認識

(JT跡地の特徴)

- ・市の中心部に位置（上田駅に近い）
- ・大規模な土地（面積21ha）
- ・民間所有地
- ・工場跡地（巨額の基盤整備費用が必要）

(市の考え方)

所有主体は民間においたまま、まちづくりや公共的役割も担っていただき、協働により活力ある市街地の一角を形成。

- ⇒ 市民の皆さんにとって効率的でリスクの少ない開発を進める
- ⇒ 跡地の一部を公共用地として取得し施設を整備する

施設整備についての市の基本方針

「交流・文化施設」及び「市民公園・広場」からなる新上田市のシンボルとしての施設整備

- ・「交流・文化施設」とは、現上田市民会館の移転を前提に、文化的機能を加えた施設
- ・「市民公園・広場」とは、芝生広場を中心に、既存林保全や親水空間にも配慮する

(基本方針を定めた主な理由)

①立地特性／中心市街地

- ・上田駅至近にあり交通利便性が高く、市民誰もが利用する施設を整備する
- ・中心市街地の一角として、市街地全体の活性化につながる拠点施設を整備する

②まちづくり／交流・活力

- ・新たな交流・活力を生み出し、上田市のポテンシャルを高める施設を整備する
- ・新上田市の中心として住民交流の拠点となり、まちづくりのシンボルとなる施設を整備する

③文化的施設／オープンスペース

- ・現市民会館の老朽化を踏まえ、“文化の薫るまちづくり”に向け新たな拠点となる施設を整備する
- ・まちなかに市民誰もが気軽に訪れ、楽しみ、憩えるような空間を整備する

(市が予定する施設の整備イメージ)

- ①位置 / 千曲川に面して整備を行う予定です。
- ②面積 / 40,000~45,000㎡程度となる予定です。
- ③全体整備費 / 用地費を含め、150億円を上限と見込んでいます。
(なお、返済を含む上田市の負担額はこの1/3程度となります。)